

(公財) 全日本空手道連盟競技規定に則り実施しますが、下記の点については、特に確認しておくこと。

1 選手の服装

(空手道衣)

- ①空手道衣は白無地一色とし、落書きやふどりのあるものは禁止する。
各試合では赤又は青帯をつけること。
- ②空手道衣の左胸に道場名または校名をつけること。

2 安全具

- ①ニューメンホーⅥ及びⅦ(全空連検定のもの)。マウスシールド必須。
 - ②拳サポーター赤・青(全空連検定のもの)
 - ③ボディプロテクター(全空連検定のもの)
 - ④インステップ・シンガード(全空連検定のもの、白又は赤・青のもの)
 - ⑤セーフティカップ(男子のみ)・・・空手道衣の下に着用する
- ※違反の参加は反則負けとなる(1分間ルール適用)

3 テーピングの使用

負傷及び再発防止のための包帯、サポーター・テーピングの使用を許可する。
ただし、次の条件を満たすものであること。

- ①攻撃及び防御強化のために使用してはならない。
- ②相手に危害を及ぼすようなものを中に入れてはならない。
- ③装備不備により、競技をしばしば中断させてはならない。
- ④テープの色は、白又はベージュの2色のみとする。
- ⑤サポーターの色は、白又はベージュの2色のみとするが、膝についてはこの限りではない。

4 競技において

- ①参加人数等により、試合時間の変更もありうる。
- ②危険回避(事故防止)の遵守事項。
 - ・メンホーは皮膚の一部であり、メンホーの開口部に手を入れたり、つかんだり、押したり、それに関連する動作は全て禁止で、ウォーニング、ペナルティーが課せられる。
 - ・メンホーの装着は仕様に従い、しっかり装着すること。
- ③ジュニアカデットルールで実施する。

5 監督

- ①北海道空手道連盟加盟団体に所属し、かつ道空連、全空連に個人登録している者。
さらに審判資格を保有しているか、ID講習会終了済みの者。
- ②監督は、IDカードを所持すること。
- ③**監督の服装は、トラックスーツ、または空手道衣とする。**
(空手道衣下にTシャツを着る場合は、白とする)

④団体毎の監督の人数は、選手1人につき、1名まで。選手数を上回る監督数は認めない。

6 ランキング

①各シリーズ並びに北海道規模の大会並びに全国規模の大会終了時点で、得点並びにランキングの更新をおこなう。

②各カテゴリーランキング上の者から、北海道空手道連盟が実施するさまざまな事業への参加を優先する。

③令和4年度から、北海道規模の大会については、大会実施日時点の得点をもとに、シードを優先する。なお、北海道の規模の大会とは、下記の大会である。

- ・北海道中学生空手道選手権大会
- ・全国中学生空手道選抜大会北海道予選大会
- ・北海道少年少女空手道錬成大会
- ・北海道小学生空手道選抜大会

④中学3年生の獲得ポイントは、卒業年度末で消滅する。

7 その他

①新型コロナウイルス感染症感染対策などさまざまな事象により、日程、実施方法を変更することもある。

②審判員については、各シリーズとも北海道空手道連盟公認審判員が公平・公正におこなう。